

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

事故概要:

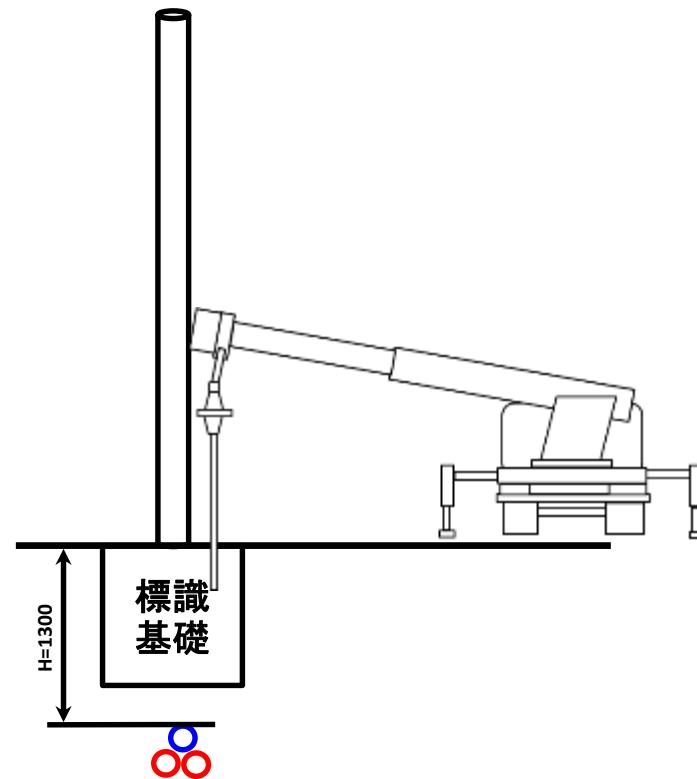
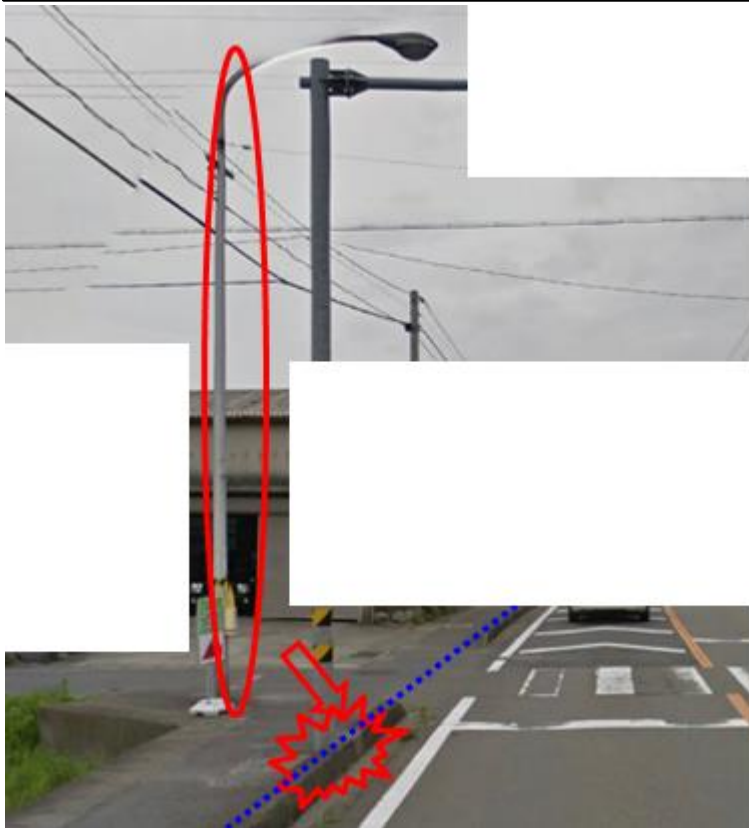
照明灯建替え工事においてアースオーガー掘削時に、電話地下埋設管を3条のうち1条を切断した。

事故原因:

事前調査や立会を行うべきだったがこれを怠った。

改善対策:

- ・事前調査、立会、試掘等を行う。
- ・施工箇所より半径50m以内を目視確認する。



分類: 照明灯設置工、アースオーガー掘削

被害状況: 加入電話581回線の障害(10時間後専用回線仮復旧、28時間後完全復旧)

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

【事故概要】

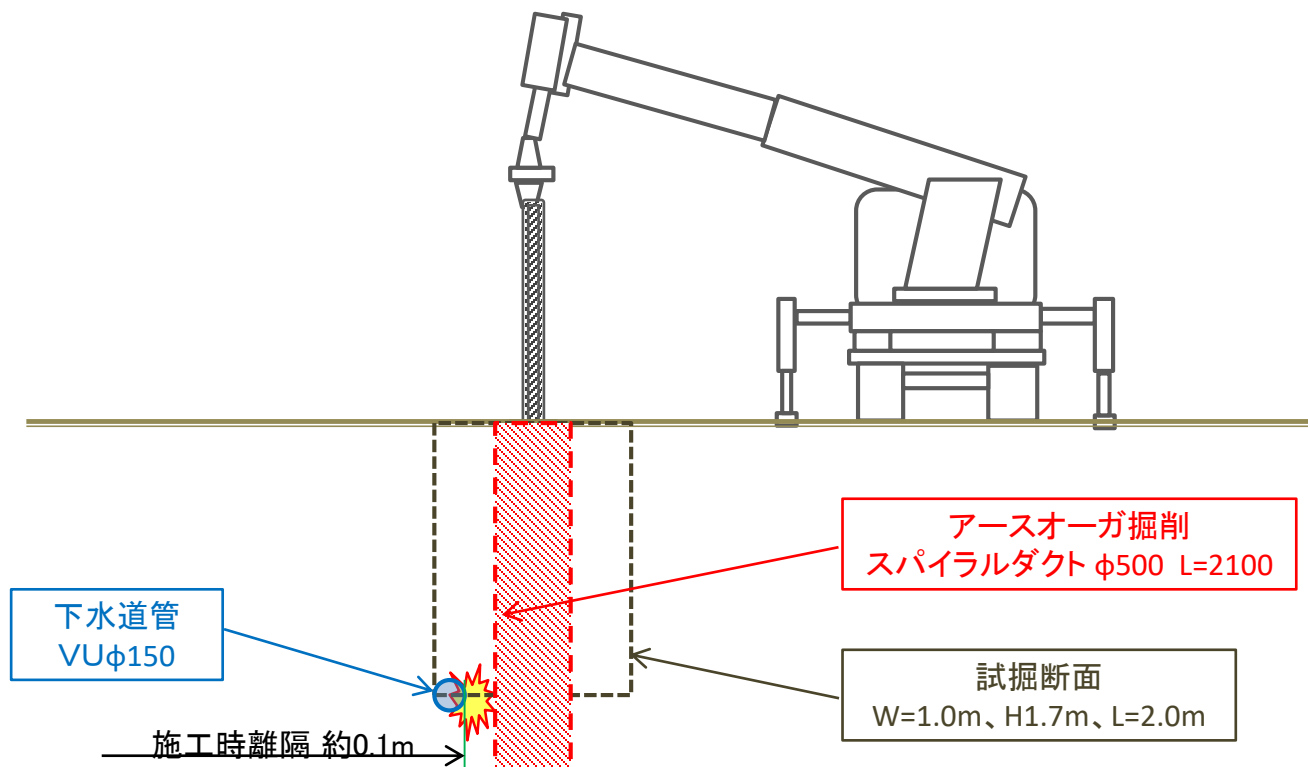
道路照明灯の基礎（スパイラルダクトφ500 L=2100）を設置するため、試掘により上水道管及び下水道管の位置出しを行った後、アースオーガで掘削作業を行ったところ、下水道管（VUφ150）を破損させた。

【事故原因】

・下水道管と十分な離隔を確保せず、アースオーガで掘削作業を行ったため、周辺の固い土砂を巻き込み、下水道管に負荷が掛かった

【改善対策】

・埋設物管理者に、埋設位置、最低離隔を確認する
・試掘の実施を再度徹底するとともに、埋設物の位置を確認し、離隔が取れない場合は、監督員へ報告・協議する



【分類】照明灯設置工、アースオーガ掘削

【被害状況】下水道管（VUφ150mm）損傷

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

【事故概要】

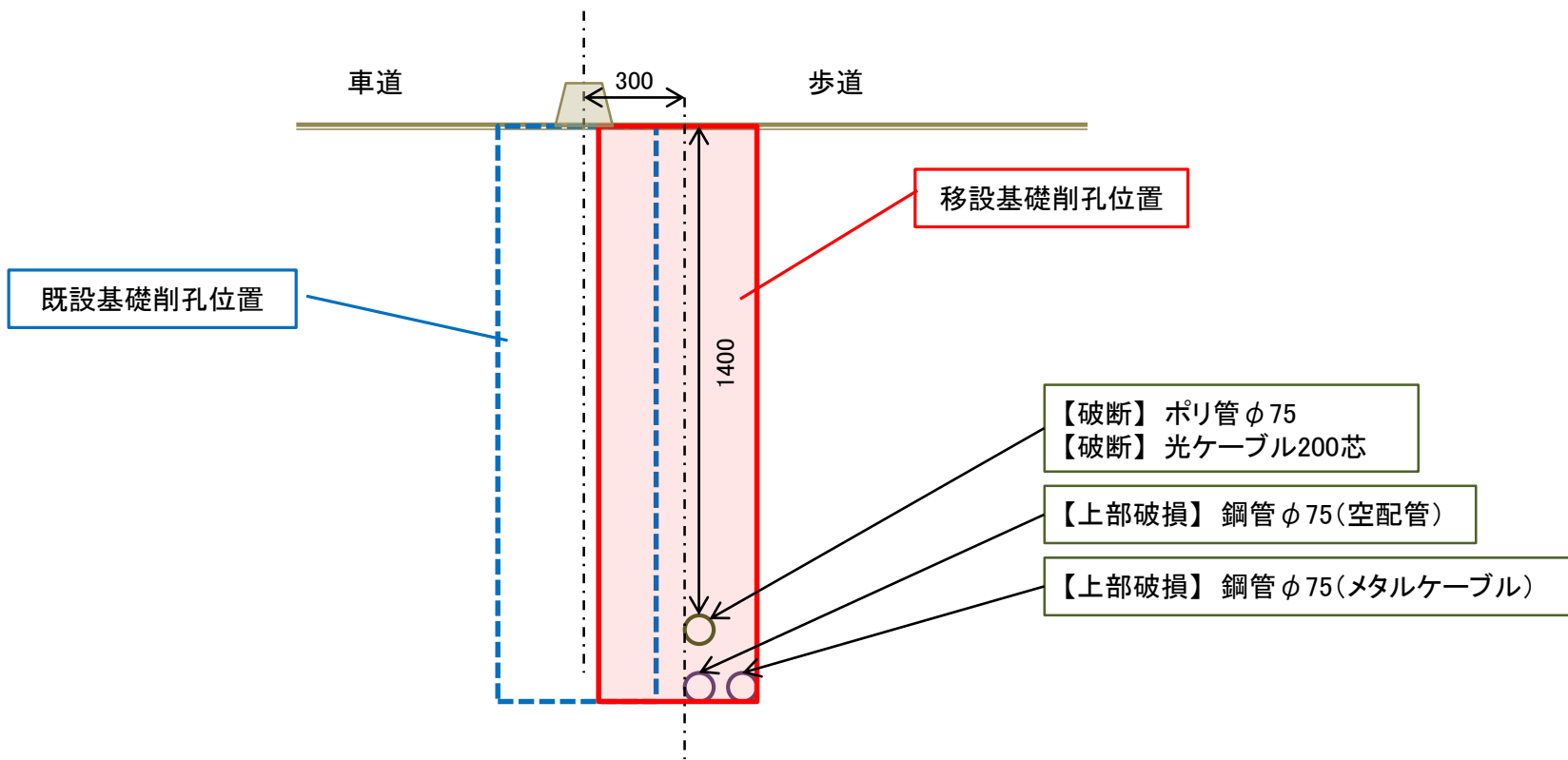
道路照明灯更新のため、既設照明灯の基礎を撤去後、同じ位置に新しい基礎を設置したが、路肩に支柱の一部がかかることから、30cm歩道側へ再設置する作業を行っていた。アースオーガで削孔作業を行っていたところ、歩道下1.4mの位置に埋設されていたNTTの埋設管と光ケーブルを損傷させた。

【事故原因】

・既設基礎の移設を行う工事であり支障埋設物は無いものと認識し、施工前に埋設物の確認を行わず施工した

【改善対策】

・地下埋設物件に関する岐阜県建設工事共通仕様書等を遵守し、打合せ事項を確実に履行する
・施工前の埋設物確認・報告及び現地立会を確実に実施する



【分類】照明灯設置工、アースオーガ掘削

【被害状況】NTT埋設管・光ケーブル損傷(通信障害:253軒、約12時間)